様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	大阪大学
設置者名	国立大学法人大阪大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
文学部	人文学科	夜・通信	55		17	72	13	
人間科学部	人間科学科	夜・通信			68	123	13	
外国語学部	外国語学科	夜・通信			34	89	13	
法学部	法学科	夜・通信		44	16	115	13	
	国際公共政策学科	夜・通信			24	123	13	
経済学部	経済・経営学科	夜・通信			26	81	13	
理学部	数学科	夜・通信		2	2	59	13	
	物理学科	夜・通信				57	13	
	化学科	夜・通信				57	13	
	生物科学科	夜・通信				57	13	
医学部	医学科	夜・通信			26	81	19	
	保健学科 看護学専攻	夜・通信			60	115	13	
	保健学科 放射線技術科学専攻				25	80	13	
	保健学科 検査技術科学専攻				49	104	13	
歯学部	歯学科	夜・通信			117	172	19	

薬学部	薬学科	夜・通信			23	78	19	
工学部	応用自然科学科	夜・通信			3	58	13	
	応用理工学科	夜・通信			4	59	13	
	電子情報工学科	夜・通信			4	59	13	
	環境・エネルギー工学科	夜・通信			4	59	13	
	地球総合工学科	夜・通信			8	63	13	
基礎工学部	電子物理科学科	夜・通信		2	2	59	13	
	化学応用科学科	夜・通信			5	62	13	
	システム科学科	夜・通信			5	62	13	
	情報科学科	夜・通信			4	61	13	
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/jitsumu

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	大阪大学
設置者名	国立大学法人大阪大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/president/trustees.html

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	国家公務員	2026.4.1 ～ 2027.3.31	リスク管理、事務組織、質保証推進
非常勤	株式会社役員	2025.4.1 ～ 2027.3.31	渉外・企業連携担当
非常勤	国立研究開発法人役員	2025.4.1 ～ 2027.3.31	ブランディング
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪大学
設置者名	国立大学法人大阪大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 本学では、教育力向上と質保証の観点から、授業計画（シラバス）の入力項目等の様式の見直しを行い、「授業形態」、「授業の目的・概要」、「学習目標」、「成績評価」等を必須入力項目に指定し、全学的に統一したフォーマットによりシラバスを作成している。また、シラバスの入力項目の入力例やそのポイントなどを詳しく記載した「シラバス作成のためのハンドブック」を作成・公表し、シラバスの内容のより一層の充実を図っている。 各授業担当教員が学務情報システム（KOAN）でシラバスを作成（入力）し、前年度の３月までに各学部においてWebにより公表している。

授業計画書の公表方法	https://koan.osaka-u.ac.jp/campusweb/campussquare.do?_flowId=SYW4201600-flow&locale=ja_JP

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 本学では、大学、学部、学位プログラム（学科・コース）ごとに策定した「カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）」及びカリキュラム・マップに基づき、授業科目を開設している。各授業科目の学習目標及び成績評価の適切な方法（試験やレポート、卒業論文など）をシラバスで明示し、学修成果を厳格かつ適正に評価して学則で定められた成績評価の方法・基準により、各学部において単位を与えている。
３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

本学では、本学で実施する授業に係る単位の実質化や教育の高度な質保証の実現に寄与するとともに、今後の教育の国際化促進を図るため、平成２６年度学部入学者からGPA制度を導入し、本学ホームページ及び各学部の学生便覧で公表している。学務情報システム（KOAN）により、学生が自身の履修状況をより客観的に把握できるようにし、教員が成績の分布状況を把握し、きめ細かな履修指導を行うなど、各学部において適切に実施している。

成績の評価及び各評価に与えられるＧＰは、以下のとおりである。

	令和８年度以降入学の学部学生及び大学院学生（令和８年３月３１日現在在学中の者の属する年次に編入学，再入学又は転入学する者を除く）		令和７年度以前入学の学部学生（令和８年度以降に令和８年３月３１日現在在学中の者の属する年次に編入学，再入学又は転入学する者を含む）	
得点率	成績の評価	ＧＰ	成績の評価	ＧＰ
90-100	Ａ＋	4.0	Ｓ	4.0
85-89	Ａ	3.7	Ａ	3.0
80-84	Ａ－	3.3		
75-79	Ｂ＋	3.0	Ｂ	2.0
70-74	Ｂ	2.7		
65-69	Ｃ＋	2.3	Ｃ	1.0
61-64	Ｃ	2.0		
60	Ｃ－	1.0		
0-59	Ｆ	0.0	Ｆ	0.0

【学期GPAを算出する計算式】

$$\text{学期GPA} = \frac{\text{（当該学期に評価を受けた各授業科目で得たＧＰ×当該授業科目の単位数）の合計}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計}}$$

【通算GPAを算出する計算式】

$$\text{通算GPA} = \frac{\text{（（各学期に評価を受けた各授業科目で得たＧＰ×当該授業科目の単位数）の合計）の総和}}{\text{（各学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計）の総和}}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/academic_reform/gpa

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

本学では、学位授与の判断のための基本的な考え方として、卒業要件や、育成する人材に修得を期待する能力などを示した「ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）」を大学、学部、学位プログラム（学科・コース）ごとに策定し、本学ホームページで公表している。

各学部及び学位プログラムにおいて、学則で定められた期間在学し、所定の単位数を修得した者に対して、各学部において卒業の認定を適切に実施している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/diploma

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	大阪大学
設置者名	国立大学法人大阪大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/publications/zaimu
収支計算書又は損益計算書	https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/publications/zaimu
財産目録	該当なし
事業報告書	https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/publications/zaimu
監事による監査報告（書）	https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/publications/zaimu

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/publications/hyouka_02

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/publications/hyouka_02

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　文学部
教育研究上の目的（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/schools/faculty/faculty_purpose）
（概要） 人文学の教育研究を通じて，人間存在の在り方及び人間の社会的・文化的営為を深く理解し，高度の論理的思考力と豊かな感性によって人間社会の未来を切り拓く能力をもった人材を養成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-letters_policy.html）
（概要）※全文は上記 URL を参照ください。 文学部は、大阪大学のディプロマ・ポリシーのもと、以下の能力や学識の修得を学士（文学）授与の要件とします。 ○高度な専門性と深い学識 （略） ○教養 （略） ○国際性 （略） ○デザイン力 （略） ○独自の学習目標 （略）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-letters_policy.html）
（概要）※全文は上記 URL を参照ください。 文学部は、大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもと、以下の方針でカリキュラムを編成します。 【教育課程編成の考え方】 （略） 【学修内容及び学修方法】 （略） 【学修成果の評価方法】 （略）
入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/admission_policy）
（概要）※全文は上記 URL を参照ください。 【求める人材像】 （略） 【入学者選抜の基本方針】 （略） 【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】 （略）

学部等名　人間科学部
教育研究上の目的（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/schools/faculty/faculty_purpose）
（概要） 人間と人間の営む社会を科学的に考察し，人間とは何かを見つめ，人間という存在を理解し，人間らしく生きていける社会を作り出すことに貢献できる有能な人材を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-human_policy.html）
（概要）※全文は上記 URL を参照ください。 大阪大学のディプロマ・ポリシーのもと、人間科学部では、日本及び国際社会に貢献する能力を養うため、学際性・実践性・国際性という３つの理念に即した、以下にあげるような能力を修得した学生に学士（人間科学）を授与します。 ○高度な専門性と深い学識 （略） ○教養 （略） ○国際性 （略） ○デザイン力 （略） ○独自の学習目標 （略）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-human_policy.html）
（概要）※全文は上記 URL を参照ください。 大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもと、人間科学部は、人間についての理解を深め、現代の多様な課題を、学際的・実践的な視点で分析し、科学的な新しい人間観を社会に示し、人間の現実生活をより充実させることに貢献できる人材の育成を目指しています。このため本学部では、以下のカリキュラムを提供します。 【教育課程編成の考え方】 （略） 【学修内容及び学修方法】 （略） 【学修成果の評価方法】 （略）
入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/admission_policy）
（概要）※全文は上記 URL を参照ください。 【求める人材像】 （略） 【入学者選抜の基本方針】 （略） 【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】 （略）

学部等名　外国語学部
教育研究上の目的（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/schools/faculty/faculty_purpose）
（概要） 外国の言語及びそれを基底とする文化一般について理論及び実際にわたって教授研究し，国際的な活動をするために必要な広い知識及び高い教養を与え，言語を通じて外国に関する深い理解を有する有為な人材を養成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-foreign_policy.html）
（概要）※全文は上記URLを参照ください。 大阪大学のディプロマ・ポリシーのもと、外国語学部では、「言語とそれを基底とする文化一般について理論と実際にわたって教授研究し、国際的な活動をするために必要な広い知識と高い教養を与え、言語を通じて世界の諸地域に関する深い理解を有する有為な人材を養成する」という学部の教育理念のもとで、所定の期間在学し、大阪大学外国語学部履修規程に定める所定の単位を修得した以下の基準を満たす学生に、学士（言語・文化）の学位を授与します。 ○高度な専門性と深い学識 （略） ○教養 （略） ○国際性 （略） ○デザイン力 （略）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-foreign_policy.html）
（概要）※全文は上記URLを参照ください。 大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもと、外国語学部では、１・２年次で身につけた専攻語と英語等の高度な言語運用能力を基盤として、３・４年次には世界各地の多様な文化に関する総合的かつ専門的な知識を身につけるようにカリキュラムを構成します。 【教育課程編成の考え方】 （略） 【学修内容及び学修方法】 （略） 【学修成果の評価方法】 （略）
入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/admission_policy）
（概要）※全文は上記URLを参照ください。 【求める人材像】 （略） 【入学者選抜の基本方針】 （略） 【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】 （略）

学部等名　法学部
教育研究上の目的（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/schools/faculty/faculty_purpose）
（概要） 法学、政治学および経済学などの学問の基礎を身につけ、歴史と現実および理念の探求を通じて人々の生き方や国際社会を含む社会のあり方を複眼的な視点から理解しようとする姿勢と、論理的な思考力や豊かな対話能力・外国語能力をもち、それらを駆使して人類や社会の公益に貢献できる学識ある人材を養成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-low_policy.html）
（概要）※全文は上記URLを参照ください。 大阪大学のディプロマ・ポリシーのもと、法学部では、教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、法学部において定める専門分野に関する知識・技能、教養、国際性及びデザイン力を身につけ、学部規程に定める試験に合格し所定の単位を修得した学生に学士（法学）の学位を授与します。 法学部は、法学、国際公共政策学の2種類の学位プログラムを有し、学習目標は次の通りです。 ○高度な専門性と深い学識 （略） ○教養 （略） ○国際性 （略） ○デザイン力 （略）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-low_policy.html）
（概要）※全文は上記URLを参照ください。 大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもと、法学部はディプロマ・ポリシーに掲げる知識・技能などを修得させるために、教養教育、法学部専門教育及び国際性涵養教育に関する授業科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組合せた授業を行います。 法学部専門教育では、法学科と国際公共政策学科2種類の学位プログラムに対応したカリキュラムを提供します。法学部は、カリキュラムがディプロマ・ポリシーに掲げられた人材を育成するのに最適なものとなるよう、また両カリキュラムで補完・相乗効果が得られるよう、開講科目の相互乗り入れなどを通して、両者の有機的一体性を確保します。さらに法曹を目指す学生のために両学科にまたがる法曹コースを設置します。 また、試験（期末筆記試験、レポート試験、小テスト、平常点など）により学修成果を厳格に評価します。 【教育課程編成の考え方】 （略） 【学修内容及び学修方法】 （略） 【学修成果の評価方法】 （略）

入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/admission_policy）
（概要）※全文は上記 URL を参照ください。 【求める人材像】 （略） 【入学者選抜の基本方針】 （略） 【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】 （略）

学部等名　経済学部
教育研究上の目的（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/schools/faculty/faculty_purpose）
（概要） 経済及び経営システムに関して理論的，実証的及び歴史的なアプローチに基づき，経済及び経営に関する知識の応用及び学問的な貢献を行うことのできる人材を育成するための教育を行うとともに，この教育を通じて，経済及び経営に関する理解を踏まえ，人間に対する深い愛情を持って，世界や日本で生起する社会現象をとらえ，人類の福祉の向上に情熱を燃やす学生を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-economics_policy.html）
（概要）※全文は上記 URL を参照ください。 大阪大学のディプロマ・ポリシーを受け、経済学部は、教育目標に定める人材を育成するため、経済・社会現象を理論的、実証的、歴史的にとらえることができるような学士課程教育を通じて、所定の期間在学し、所定の単位を修得した学生に学位「学士（経済学）」を授与します。 経済学部が授与する学位「学士（経済学）」には、卒業後、民間企業や官公庁、あるいはシンクタンクや大学院など、個人の適性に応じて多様な道に進み、将来、それぞれの分野において大きな成果をあげてほしいという願いを込めています。 ○高度な専門性と深い学識 （略） ○教養 （略） ○国際性 （略） ○デザイン力 （略） ○独自の学習目標 （略）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-economics_policy.html）

（概要）※全文は上記 URL を参照ください。
大阪大学のカリキュラム・ポリシーを受け、経済学部では、教育目標にしたがった体系的なカリキュラムを用意しています。学科は、経済・経営学科のみであり、経済学と経営学の区別にとらわれない学習が可能です。

教養教育・国際性涵養教育・専門教育の 3 つの教育プログラムのそれぞれを、入学から卒業まで主体的に学ぶことができるように編成しています。教養教育では専門分野以外にも広い視野を養成する科目を設定します。国際性涵養教育では語学科目や異文化理解を進めるための科目を設定しています。専門教育では経済学・経営学の基礎から段階的に科目を配置しています。デザイン力を育成するために、学生それぞれの研究テーマに沿った少人数による演習も充実しています。

経済学部には多くの外国人留学生が在籍しており、多様な文化的背景をもつ学生とともに学び、交流する環境が整っており、交換留学制度等を利用して海外で学習する機会も開かれています。
【教育課程編成の考え方】
（略）
【学修内容及び学修方法】
（略）
【学修成果の評価方法】
（略）

入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/admission_policy）

（概要）※全文は上記 URL を参照ください。
【求める人材像】
（略）
【入学者選抜の基本方針】
（略）
【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】
（略）

学部等名　理学部

教育研究上の目的（公表方法：Web
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/schools/faculty/faculty_purpose）

（概要）
幅広い自然科学の基礎に裏付けられた柔軟な発想を身に付け，自然に対する鋭い直感と的確な判断力を養い，その素養を背景にして社会に貢献する人材を育成することを目的とする。

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：Web
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-science_policy.html）

（概要）※全文は上記 URL を参照ください。
大阪大学のディプロマ・ポリシーのもと、 理学部では大阪大学の初代総長で、本学部を創設した長岡半太郎先生の言葉である「勿嘗糟粕（そうはくをなむるなかれ）」の精神に則り、自然科学の探求に対して形だけをまねず、真理追求の中で理学の本質を学び、理学部の提供する科目構成に従った下記のような能力を複合的に身につけたと認められる学生に学位「学士（理学）」を授与します。

○高度な専門性と深い学識
（略）

○教養
（略）
○国際性
（略）
○デザイン力
（略）
○独自の学習目標
（略）

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-science_policy.html）

（概要）※全文は上記URLを参照ください。
大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもと、理学部では異分野の人ともコミュニケーションができる教養を身につけるための教養教育系科目、グローバル化社会に貢献できる語学力と国際性を身につけるための国際性涵養教育系科目、および理学全般の素養と専門分野における基礎から高度な知識までの修得と実践的能力・デザイン力を身につけるための専門教育系科目を配置しています。以下に説明するこれら教養教育系科目、国際性涵養教育系科目、および専門教育系科目からなるカリキュラムを履修したのち、厳格な学修成果の評価方法により単位認定します。

【教育課程編成の考え方】
（略）
【学修内容及び学修方法】
（略）
【学修成果の評価方法】
（略）

入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/admission_policy）

（概要）※全文は上記URLを参照ください。
【求める人材像】
（略）
【入学者選抜の基本方針】
（略）
【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】
（略）

学部等名　医学部医学科

教育研究上の目的（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/schools/faculty/faculty_purpose）

（概要）
高度な医学・医療を修得し，将来の医学・医療を担うべき高度の倫理観及び他人を思いやる温かい人間性に裏付けられた創造性豊かで開拓精神旺盛な医師，医療技術者及び医学研究者を育成することを目的とする。

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/f-medicine_policy.html）

（概要）※全文は上記URLを参照ください。
大阪大学のディプロマ・ポリシーのもと、医学部医学科では、教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、医学部医学科において定める専門分野に関する所定の単位を修得し、次のとおり優れた知識と能力を身につけた学生に学士(医学)の学位を授与し

ます。

○高度な専門性と深い学識
（略）
○教養
（略）
○国際性
（略）
○デザイン力
（略）

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/f-medicine_policy.html）

（概要）※全文は上記URLを参照ください。
大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもと、医学部医学科では、学位授与の方針に掲げる知識・技能を修得させるために、教養教育系科目、専門教育系科目及び国際性涵養教育系科目を体系的に編成し、先進医療を担う医師及び医学研究者として必要な知識、倫理観、リサーチマインドを養うことを目標にします。

【教育課程編成の考え方】
（略）
【学修内容及び学修方法】
（略）
【学修成果の評価方法】
（略）

入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/admission_policy）

（概要）※全文は上記URLを参照ください。
【求める人材像】
（略）
【入学者選抜の基本方針】
（略）
【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】
（略）

学部等名　医学部保健学科

教育研究上の目的（公表方法：Web
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/schools/faculty/faculty_purpose）

（概要）
高度な医学・医療を修得し，将来の医学・医療を担うべき高度の倫理観及び他人を思いやる温かい人間性に裏付けられた創造性豊かで開拓精神旺盛な医師，医療技術者及び医学研究者を育成することを目的とする。

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：Web
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-allied_policy.html）

（概要）※全文は上記URLを参照ください。
大阪大学のディプロマ・ポリシーのもと、医学部保健学科においては、国内外の研究・実践・教育の場で、専門性と語学力を基盤としたリーダーシップを発揮し、専門領域の確固たる資格と自信を持ち、人に対して温かい目を持つ医療人を育成するという基本理念の下、以下にあげるような能力を修得した学生に学位（看護学：学士（看護学）、放射線技術科

学／検査技術科学：学士（保健衛生学）） を授与します。

○高度な専門性と深い学識
（略）
○教養
（略）
○国際性
（略）
○デザイン力
（略）

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-allied_policy.html）

（概要）※全文は上記URLを参照ください。
大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもと、医学部保健学科は、教養教育、専門教育及び国際性涵養教育に関する授業科目を体系的に編成し、講義、演習、実験・実習を効果的に組合せて、幅広い知識と教養、豊かな人間性、高い倫理観を身につけながら、専門領域の理解を深め、理論と実践を科学的に追求し、各領域の研究を発展させ、かつ医療専門資格取得につながる授業を開講します。

【教育課程編成の考え方】
（略）
【学修内容及び学修方法】
（略）
【学修成果の評価方法】
（略）

入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/admission_policy）

（概要）※全文は上記URLを参照ください。
【求める人材像】
（略）
【入学者選抜の基本方針】
（略）
【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】
（略）

学部等名　歯学部

教育研究上の目的（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/schools/faculty/faculty_purpose）

（概要）
歯科医学・歯科医療に関する教育により社会に寄与し，優れた医療人及び将来の教育・研究者を育成することを目的とする。

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-dentistry_policy.html）

（概要）※全文は上記URLを参照ください。
大阪大学のディプロマ・ポリシーのもと、歯学部では、歯・口腔・顔面領域に基盤をおいた生命科学分野を対象として、以下にあげるような能力を修得した学生に学士（歯学）を授与します。

○高度な専門性と深い学識
（略）
○教養
（略）
○国際性
（略）
○デザイン力
（略）
○プロフェッショナリズム（独自の学習目標）
（略）

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-dentistry_policy.html）

（概要）※全文は上記URLを参照ください。
大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもと、歯学部では、専門力、俯瞰力、複眼的思考能力及び国際性を涵養し、将来の多様なキャリアパスを支援する教育プログラムを実践します。
【教育課程編成の考え方】
（略）
【学修内容及び学修方法】
（略）
【学修成果の評価方法】
（略）

入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/admission_policy）

（概要）※全文は上記URLを参照ください。
【求める人材像】
（略）
【入学者選抜の基本方針】
（略）
【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】
（略）

学部等名　薬学部

教育研究上の目的（公表方法：Web
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/schools/faculty/faculty_purpose）

（概要）
医薬品の創成及びその適正な使用法の確立、生活環境の安全及び安心の確保等を通じて人類の健康に奉仕し、豊かな社会の発展に貢献することができる人材を育成することを目的とする。

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：Web
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-pharmaceutical_policy.html）

（概要）※全文は上記URLを参照ください。
大阪大学のディプロマ・ポリシーのもと、薬学部は６年制薬学科において３つのコースを設け、それぞれ教育目標に定める医薬品の創成とその適正な使用法の確立、生活環境の安全・安心の確保等を通じて人類の健康に奉仕し、豊かな社会の発展に貢献することができる人材の育成を目指します。このような人材を輩出するために、薬学部が下記の学習目標に定める「高度な専門性と深い学識」、「教養」、「国際性」及び「デザイン力」を身につけ、学部規程に定める期間在学し、所定の単位を修得した学生に学士（薬学）の学位を授

与します。 ○高度な専門性と深い学識 （略） ○教養 （略） ○国際性 （略） ○デザイン力 （略）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-pharmaceutical_policy.html）
（概要）※全文は上記URLを参照ください。 大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもと、薬学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げた「高度な専門性と深い学識」、「教養」、「国際性」及び「デザイン力」を修得するために必要な科目を全学共通教育及び薬学専門教育において体系的に編成し、講義、演習、基礎実習、実務実習及び長期課題研究等を適切に組合せた授業を行います。 【教育課程編成の考え方】 （略） 【学修内容及び学修方法】 （略） 【学修成果の評価方法】 （略）
入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/admission_policy）
（概要）※全文は上記URLを参照ください。 【求める人材像】 （略） 【入学者選抜の基本方針】 （略） 【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】 （略）

学部等名　工学部
教育研究上の目的（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/schools/faculty/faculty_purpose）
（概要） 自然と人類との調和を図り，真の豊かさを持つ安心及び安全な社会の実現を目指し，体系化された工学基礎学力，幅広い教養及び高い倫理観に立脚した総合的判断力を有し，主体的に課題を設定して積極的に問題を解決することのできる創造性豊かな技術者・研究者の育成を図ることを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/sc-engineering_policy.html）

（概要）※全文は上記 URL を参照ください。
大阪大学のディプロマ・ポリシーのもとに、教育目標に定める人材を育成するために、全学共通教育及び５つの工学分野に対応した学科ごとに定める基礎並びに専門科目を教育し、工学的基礎能力を身につけさせることで、設定した所定の単位を修得し、学部規程に定める試験に合格した学生に学士（工学）の学位を授与します。

○高度な専門性と深い学識
（略）
○教養
（略）
○国際性
（略）
○デザイン力
（略）

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/sc-engineering_policy.html）

（概要）※全文は上記 URL を参照ください。
大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもとに、工学部では、人類社会や自然界の仕組みを深く理解する幅広い知識を養うための全学共通教育、高度な専門的知識とそれを活用したデザイン力を養うための専門教育、さらにはコミュニケーション力や思考力、国際性等の人間力を養うための様々な教科からなる総合的な教育プログラムによって、本学部の教育理念で求める人材の育成を行います。

【教育課程編成の考え方】
（略）
【学修内容及び学修方法】
（略）
【学修成果の評価方法】
（略）

入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/admission_policy）

（概要）※全文は上記 URL を参照ください。
【求める人材像】
（略）
【入学者選抜の基本方針】
（略）
【具体的選抜方法と資質・能力との関係】
（略）

学部等名　基礎工学部

教育研究上の目的（公表方法：Web
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/schools/faculty/faculty_purpose）

（概要）
科学と技術の融合による科学技術の根本的開発及びそれにより人類の真の文化を創造することを教育研究理念とし，この理念のもと，理学と工学のバランスのとれた深い専門教育の実践と人間性を涵養する質の高い教養教育を通じ，次に掲げる人材を養成することを目的とする。
(1)基盤たる専門知識に基づき基礎から応用にわたる研究開発を担い得る専門的職業能力を身につけた創造性豊かな人材

(2)高い専門性と広い知識をもって学際新領域で活躍する人材 (3)総合的な知性と豊かな人間性に基づく幅広い教養を兼ね備えた国際社会及び地域社会に貢献できる人材
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-engineering_policy.html）
（概要）※全文は上記URLを参照ください。 大阪大学のディプロマ・ポリシーのもと、基礎工学部の教育目標に定める人材を育成するため所定の期間在学し、所属する各コース（教育プログラム）で定める特別研究を含む所定の単位を修得することで、以下に示す各分野で基盤となる自然科学系の知識や創造性、高度な専門能力と幅広い知識、高い教養、倫理観、国際的リーダーシップ等の人間力を身につけた学生に学位（学士（工学））を授与します。 ○高度な専門性と深い学識 （略） ○教養 （略） ○国際性 （略） ○デザイン力 （略）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/policies/s-engineering_policy.html）
（概要）※全文は上記URLを参照ください。 大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもと、基礎工学部では、基礎工学部のディプロマ・ポリシーに掲げる知識・技能などを修得させるために、教養教育系科目に加え、以下の方針で専門教育系科目および国際性涵養教育系科目、その他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。 【教育課程編成の考え方】 （略） 【学修内容及び学修方法】 （略） 【学修成果の評価方法】 （略）
入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/admission_policy）
（概要）※全文は上記URLを参照ください。 【求める人材像】 （略） 【入学者選抜の基本方針】 （略） 【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】 （略）

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/academic_degree.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	10 人	－					10 人
文学部	－	46 人	30 人	6 人	12 人	0 人	94 人
人間科学部	－	40 人	25 人	17 人	18 人	0 人	100 人
外国語学部	－	60 人	48 人	49 人	15 人	0 人	172 人
法学部	－	20 人	10 人	0 人	6 人	1 人	37 人
経済学部	－	27 人	14 人	5 人	2 人	2 人	50 人
理学部	－	79 人	59 人	15 人	72 人	1 人	226 人
医学部	－	102 人	87 人	89 人	348 人	1 人	627 人
歯学部	－	25 人	16 人	10 人	44 人	0 人	95 人
薬学部	－	18 人	22 人	10 人	25 人	0 人	75 人
工学部	－	138 人	123 人	20 人	112 人	0 人	393 人
基礎工学部	－	70 人	49 人	16 人	71 人	0 人	206 人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	891 人	891 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：https://rd.iai.osaka-u.ac.jp/#/

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

全学 FD 委員会、スチューデント・ライフサイクルサポートセンター教学支援部、全学教育推進機構教育学習支援部が中心となって FD 活動を実施している。教員の教育力向上や学習指導の充実を図ることを目的に、全教職員を対象に授業設計、教育技法、学習評価、教材作成についてなど様々なテーマ・内容で FD セミナーを、年間を通して開催している。また全教員を対象とした全学ＦＤを実施するとともに、各部局においても部局のニーズに応じた内容のＦＤセミナーを実施している。さらに、各教員の学習支援のためのコンサルティングを実施している。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員(a)	入学者数(b)	b/a	収容定員(c)	在学生数(d)	d/c	編入学定員	編入学者数
文学部	165 人	167 人	101.2%	660 人	749 人	113.5%	－ 人	1 人
人間科学部	137 人	134 人	97.8%	568 人	642 人	113.0%	10 人	8 人
外国語学部	580 人	588 人	101.4%	2,340 人	2,805 人	119.9%	10 人	1 人
法学部	250 人	260 人	104.0%	1,020 人	1,090 人	106.9%	10 人	1 人

経済学部	220 人	230 人	104.5%	900 人	980 人	108.9%	10 人	4 人
理学部	255 人	268 人	105.1%	1,020 人	1,135 人	111.3%	－ 人	2 人
医学部	258 人	261 人	101.2%	1,280 人	1,330 人	103.9%	10 人	10 人
歯学部	53 人	53 人	100.0%	318 人	344 人	108.2%	－ 人	0 人
薬学部	80 人	83 人	103.8%	480 人	525 人	109.4%	－ 人	0 人
工学部	853 人	864 人	101.3%	3,370 人	3,604 人	106.9%	12 人	31 人
基礎工学部	462 人	468 人	101.3%	1,810 人	1,928 人	106.5%	8 人	16 人
合計	3,313 人	3,376 人	101.9%	13,766 人	15,132 人	109.9%	70 人	74 人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
文学部	176 人 （100%）	44 人 （25.0%）	116 人 （65.9%）	16 人 （9.1%）
人間科学部	129 人 （100%）	35 人 （27.1%）	80 人 （62.0%）	14 人 （10.9%）
外国語学部	572 人 （100%）	37 人 （6.5%）	470 人 （82.2%）	65 人 （11.4%）
法学部	270 人 （100%）	52 人 （19.3%）	186 人 （68.9%）	32 人 （11.9%）
経済学部	232 人 （100%）	16 人 （6.9%）	185 人 （79.7%）	31 人 （13.4%）
理学部	260 人 （100%）	201 人 （77.3%）	42 人 （16.2%）	17 人 （6.5%）
医学部	253 人 （100%）	86 人 （34.0%）	65 人 （25.7%）	102 人 （40.3%）
歯学部	43 人 （100%）	0 人 （0%）	0 人 （0%）	43 人 （100%）
薬学部	63 人 （100%）	4 人 （6.3%）	54 人 （85.7%）	5 人 （7.9%）
工学部	863 人 （100%）	753 人 （87.3%）	89 人 （10.3%）	21 人 （2.4%）
基礎工学部	469 人 （100%）	379 人 （80.8%）	62 人 （13.2%）	28 人 （6.0%）
合計	3,330 人 （100%）	1,607 人 （48.3%）	1,349 人 （40.5%）	374 人 （11.2%）

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
進学先：大阪大学大学院　等
就職先：大阪大学医学部附属病院、三井住友銀行、日本生命保険　等

（備考）

c.修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
合計	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)

（備考）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
本学では、教育力向上と質保証の観点から、授業計画（シラバス）の入力項目等の様式の見直しを行い、「授業形態」、「授業の目的と概要」、「学習目標」、「成績評価」等を必須入力項目に指定し、全学的に統一したフォーマットによりシラバスを作成している。また、シラバスの入力項目の入力例やそのポイントなどを詳しく記載した「シラバス作成のためのハンドブック」を作成・公表し、シラバスの内容のより一層の充実を図っている。
各授業担当教員が学務情報システム（KOAN）でシラバスを作成（入力）し、前年度の３月までに各学部においてWebにより公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
本学では、大学、学部、学位プログラム（学科・コース）ごとに策定した「カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）」及びカリキュラム・マップに基づき授業科目を開設している。各授業科目の学習目標及び成績評価の適切な方法（試験やレポート、卒業論文など）をシラバスで明示し、学修成果を厳格かつ適正に評価して学則で定められた成績評価の方法・基準により、各学部において単位を与えている。
また、学位授与の判断のための基本的な考え方として、卒業要件や、育成する人材に修得を期待する能力などを示した「ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）」を大学、学部、学位プログラム（学科・コース）ごとに策定し、本学ホームページで公表している。各学部及び学位プログラムにおいて、学則で定められた期間在学し、所定の単位数を修得した者に対して、各学部において卒業の認定を適切に実施している。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
文学部	人文学科	130 単位	㊒・無	単位
人間科学部	人間科学科	128 単位	㊒・無	単位
外国語学部	外国語学科	126 単位	㊒・無	単位
法学部	法学科	132 単位	㊒・無	単位
	国際公共政策学科	132 単位	㊒・無	単位

経済学部	経済・経営学科	130 単位	㊒・無	単位
理学部	数学科	124 単位	㊒・無	単位
	物理学科	125 単位	㊒・無	単位
	化学科	128 単位	㊒・無	単位
	生物科学科	125 単位	㊒・無	単位
医学部	医学科	213 単位	㊒・無	単位
	保健学科 看護学専攻	132 単位	㊒・無	単位
	保健学科 放射線技術科学専攻	132 単位	㊒・無	単位
	保健学科 検査技術科学専攻	148 単位	㊒・無	単位
歯学部	歯学科	223 単位	㊒・無	単位
薬学部	薬学科	186 単位	㊒・無	単位
工学部	応用自然科学科	133 単位	㊒・無	単位
	応用理工学科	136 単位	㊒・無	単位
	電子情報工学科	137 単位	㊒・無	単位
	環境・エネルギー工学科	138 単位	㊒・無	単位
	地球総合工学科	135 単位	㊒・無	単位
基礎工学部	電子物理科学科	132 単位	㊒・無	単位
	化学応用科学科	128 単位	㊒・無	単位
	システム科学科 機械科学コース	126 単位	㊒・無	単位
	システム科学科 知能システム学コース	126 単位	㊒・無	単位
	システム科学科 生物工学コース	131 単位	㊒・無	単位
	情報科学科	130 単位	㊒・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）	公表方法： https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/academic_reform/gpa			
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）	公表方法： https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/academic_reform/gpa			

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/campus

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	施設設備整備費	検定料	合計
文学部	人文学科	535,800円	282,000円	0円	17,000円	834,800円
人間科学部	人間科学科					
外国語学部	外国語学科					
法学部	法学科					
	国際公共政策学科					
経済学部	経済・経営学科					
理学部	数学科					
	物理学科					
	化学科					
	生物科学科					
医学部	医学科					
	保健学科					
歯学部	歯学科					
薬学部	薬学科					
工学部	応用自然科学科					
	応用理工学科					
	電子情報工学科					
	環境・エネルギー工学科					
	地球総合工学科					
基礎工学部	電子物理科学科					
	化学応用科学科					
	システム科学科					
	情報科学科					

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 健康支援相談センターを設置し、教員、カウンセラー及びコーディネーターが、学生からの相談への対応、障がい学生の支援、「なんでも相談」の受付など、幅広い修学支援を提供している。
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要） キャリアセンターを設置し、産学官共創キャリア支援イベント、キャリア相談、就職・キャリアガイダンス、就職情報コーナーでの情報提供、セミナー、インターンシップ、キャリア形成教育科目の開講等を行っている。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 健康支援相談センターを設置し、医師、カウンセラー、コーディネーター及びメディカルスタッフが、学生への健康支援、メンタルヘルス支援など、幅広い支援を提供している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F127110107852
学校名（○○大学 等）	大阪大学
設置者名（学校法人○○学園 等）	国立大学法人大阪大学

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		2632人（1965）人	2610人（1933）人	2745人（ 2039）人
内訳	第Ⅰ区分	492人	487人	
	（うち多子世帯）	（ 98人）	（ 83人）	
	第Ⅱ区分	210人	220人	
	（うち多子世帯）	（ 39人）	（ 41人）	
	第Ⅲ区分	139人	128人	
	（うち多子世帯）	（ 37人）	（ 34人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	225人	207人	
	区分外（多子世帯）	1,566人	1,568人	
家計急変による 支援対象者（年間）				19人（ －）人
合計（年間）				2761人（2044）人

（備考）
民間奨学金の併給制限等により、授業料等減免のみ又は給付奨学金のみの学生が含まれている。

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	49人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	－	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	－	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	15人	人	人
計	66人	人	人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	25人	人	人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	－	人	人
ＧＰＡ等が下位４分の１	310人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	22人	人	人
計	318人	人	人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。